

新栄だより vol.16

恵み豊かな富山 私たちにできる事とは…



※Google earthより

富山湾に大河が流れています～富山深海長谷～



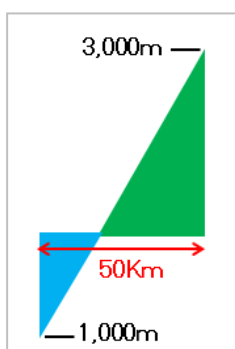
▲図1 富山深海長谷流域の地形と流系図

海底谷とは、現在の海底が陸地だった時代の川の跡といわれています。富山湾には、日本周辺で最長の海底谷である富山深海長谷があります。日本海の中央部の海底まで蛇行しながら800Kmも続く大河です。富山湾にこの日本最大の海底谷ができたのは、北アルプスと関係しています。

そして、日本最大の土砂供給地である北アルプスから供給された土砂は、黒部川・常願寺川・神通川などの河川によって富山平野に運ばれ、そこに扇状地を作ります(図1)。これらの河川は扇状地の先端に河口があり、そして土砂を直接富山湾へ排出しています。

富山湾は大陸棚が狭く、深い海が海岸の近くまで迫っていることが大きな特徴です(図2)。「あいがめ」と呼ばれる16ほどの海底谷があり、そこは良好な漁場となっています。

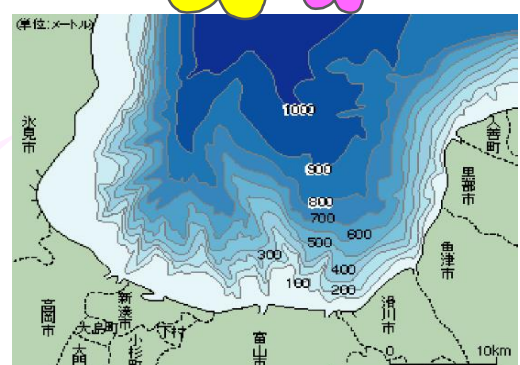
このような富山湾の特徴により、河口から出た土砂は海底谷に入り込み、深海底へと運ばれます。各海底谷は富山湾底で次々と合流し、1本の大きな谷になります。これが富山深海長谷(とやましんかいちょうこく)と言われる海底谷です。



▲富山県の地形(高低差)

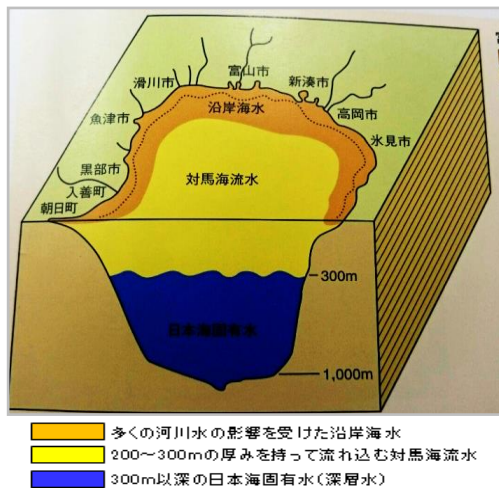
富山県は、3000m級の立山連峰から水深1000mの富山湾まで、高低差が4000メートルにも及ぶ地形となっています。全国でも大変めずらしい地形です。

富山湾は、沿岸から一気に深くなる特異な海底地形をしています。



▲図2 富山湾の海底地形図

富山湾自体が天然のいけすです



富山湾の構造は層を成す3種類の海水で構成されています(左図)。海岸付近の表層部分は河川の水や雨水が流れ込んだ「沿岸表層水」です。河川部の影響で塩分が低く、森林から運ばれたミネラルなどの栄養素が多いのが特徴です。また淡水性の海底湧水も多く、海藻や植物プランクトンが増殖し、多くの魚介類が繁殖できる環境が整っています。

その下層に対馬海流(暖流)が、日本海から能登半島に沿って、一部が富山湾に流れてきます。このため暖流系の魚がこの流れに乗って富山湾に入ってきます。さらにこの下層部分、水深300m以下の所には、年間を通じて1~2℃の「日本海固有水」(深層水)とよばれる海水があります。栄養塩が多く、有機物や細菌類が極めて少なくきれいで、冷水性の深海性生物が数多く生息しています。

このように富山湾では暖流と寒流が層を成しています。暖流と寒流がぶつかっているわけではありません。この条件が重なり、日本海には800種類の魚がいると言われていますが、富山湾にはそのうちの500種類の魚が生息しています。まさに天然のいけすです。

また、ホタルイカは日本の周辺の海に広く分布しています。毎年3月~6月にはホタルイカが産卵のために富山湾に入ってきます。富山湾は海底(地形)が急に深くなっているため、ホタルイカが岸に寄りやすい条件にあると考えられています。魚津沿岸で春と冬に蜃気楼が見られるのは、富山湾が大きな碗底のような形状をしていることに理由があります。また、魚津・生地方面では、埋没林や海底林が多くみられます。何千年も前の樹木が地中に埋もれて腐らずに残ったのは、この地に海底湧水が多いためだと言われています。

富山県内はこの地形のおかげでいたるところに湧水があり、名水百選の場所があります。2015年モンドセレクションでは富山市の水道水「とやまの水」が最高賞の最高金賞を3年連続で受賞しています。

富山の地形はそこに住むすべてを包み込むように守りたつ北アルプスの雪解け水が海に流れ、天然資源を形成し、私たちの生活を豊かにしてくれています。今回富山湾を調べて、改めて富山湾の他に類を見ない地形の不思議に感動しました。一つでも欠けていたならばこの豊かさは別のものになっていたかもしれません。

この豊かさを持続するためにも、環境問題や省エネなどを念頭においてお客様に提案し、お客様に喜んで頂けるように業務を進めたいと思います。



▲富山湾越しに立山連峰が見える雨晴海岸

資料：地質情報展2010とやま「海・山ありて富める大地」・富山県おさかな普及協議会「ふるさと富山湾」
富山県/日本海学推進機構「富山湾読本」・北日本新聞社「富山湾を科学する」

(工事部・上沢、大山)

富山城址公園 環境整備活動

9月19日(土)に、今年2回目の地域美化活動を城址公園周辺で行いました。

当社では、毎年夏に岩瀬浜海水浴場の美化活動を実施しており、海から漂着したゴミなどの回収を行っていましたが、今年は、城址公園周辺で総曲輪西地区再開発やマンション、城址内の茶室碌々亭の工事に携わっていることから、城址公園周辺で行いました。市内中心部であるためゴミが多いのではと思いましたが、ゴミ回収量は非常に少なく、地元の皆様の美化意識の高さが感じられました。

清掃活動に来て、ゴミがほとんど落ちていない状況に逆の意味で驚きましたが、その中でタバコの吸い殻や枯葉などのゴミを見つけた時はちょっとうれしかったです。活動終了後は清々しい気持ちになりました。

これからも当社では計画的に美化活動に取り組み、社内行事として地域の美化改善に少しでも貢献できればと思っています。

(営業企画部・前田)



▲青空に映える富山城を見ながら清掃活動ができました

お客様紹介 一番町スクエアビル様 「アメイジングナイト」ときめきときらめきと」



▲一番町スクエアビル様 富山市一番町1番1号



一番町スクエアビル様（朝日印刷様・北陸銀行様）が、10月10日（土）～17日（日）の間、富山市の合併10周年記念事業として、特別ライトアップに協賛されました。

「秋の夜は、光と音の街へ」と題して、ライトレール環状線沿線夜間景観は富山城・富山市民プラザなどの公的な建物のほか地元企業様が協賛されています。一番町スクエアビル様は、虹の色彩の変化をイメージされた斬新な発想の照明です。

当社は今回、朝日印刷様・北陸銀行様の指導のもと、当社担当者と照明器具メーカーとが各種テーマ毎にご提案をして、アドバイスを頂き、ご採用頂いたライトアップです。

10月10日（土）の各種イベントには市民の方々が多数参加されて、「一番町スクエアビルのライトアップは美しいですね」とのお声も頂き、関係者の一員として本件ライトアップ事業に参画させて頂きましたことは望外の喜びでした。

（営業企画部・小林）

今回のライトアップは、建物が白色ではなく黒色ベースであり、LED灯具からのカラー配色がどう映るか、また色によっては映える色とそうではない色があるのではないかと、また、デザインされた建物にどのように映るのか、明るさや色温度・経済性・メンテナンスを考慮して、お客様とブレゼンの中で何度も検証し綿密に打ち合わせを行いました。今回はLED灯具125Wフルカラー・配光角40度を使用しております。

工事完了後はご要望通りの明かりが配光されて、今回の工事は私にとってとても良い経験になりました。

ライトアップは月曜日から木曜日はホワイトで、金曜日から日曜日はブルーで、またイベントなどの時はレインボーやその他のライトアップがされます。是非多くの市民の皆様にご覧いただきたいです。今回工事をさせて頂きました事に感謝致します。（工事部・藤川）



工事部近況報告

チューゲキ株式会社様の現場より



▲施工現場の様子



▲土間配管の打合せをしています（左・佐伯、右・加藤）



▲仮設盤の点検中です

工事部の佐伯です。現在、チューゲキ株式会社様の現場を担当させて頂いております。入社して約1年半になりますが今でも毎日が新しい事、分からない事の連続で、上司や職人の皆様には迷惑かけっぱなしの日々です。入社当時は「毎日が新鮮で楽しい」と思って過ごしていましたが、1年半も「新鮮」が続くと「早く仕事を覚えて自分の考えで動きたい」という気持ちの方が強くなってきました。

さて、チューゲキ様は、地元の大手、歴史ある駐車場・不動産管理の会社です。現在、大和ハウス工業株式会社様のもと、富山市堤町通りで工事をさせて頂いております。現場状況は、土間配管の施工図を書いています。上司を始め、先輩など周りの方々の支え無しでは現場を収めることは出来ません。しかし、自分の現状に甘えることなく、本当の意味で楽しく仕事に取り組める一人前の担当者になる為に、この現場で一つでも多くの事を学び、お客様に喜んで頂けるように1つ1つの事を丁寧に学んでいきたいと思っております。

ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、関係者並びに「新米だより」をご愛読頂いている皆様、応援よろしくお願い致します。

（工事部・佐伯）

<先輩からの一言>

電気設備工事は経験が必要不可欠な職種のため、佐伯君はまだこれから経験することが多く、今は苦労することや失敗することもあるかと思いますが、持ち前のカンの良さと柔軟な対応力で乗り越えていって下さい。

現場では、設計者・現場監督・自社、他社の職人さんと積極的にコミュニケーションをとり、常に責任を持ってお客様に喜んで頂けるように心掛ければ、スムーズに仕事ができるかと思えます。

私自身も失敗を重ね、色々な方々にご指導頂いたおかげでここまで来ることができました。これからもお互いに色々な経験をして成長の糧とし、お客様に喜んで頂けるようにお互いに頑張っていきましょう。

（工事部・加藤）



当社近況報告



営業部

11月1日(日)に毎年恒例となっております新栄グリーン会(ゴルフコンペ)を開催しました。今年春のコンペで、次回は第50回の記念大会とすることが決定し(回数は概算でしたが…笑)記念の大会となりました。当日は曇一つない快晴のなか、記念大会に相応しい豪華賞品獲得を目指して熱いプレーが繰り広げられました。新栄グリーン会のハンディキャップは、「新ペリアの上限一切なし」を適用するので10台〜80台までのハンディキャップが加算されます。当然ドラマが起こることが多いです。そんな中、記念すべき第50回大会の優勝を飾ったのは当社の清田社長でした。

日頃は様々な形で当社の事業に協力していただいている仲間と共に、ひと時ではありましたが楽しい時間を過ごすことができました。これからもコミュニケーションを深め、チームワークを高めて日々の業務にいかしてまいります。ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げ、第60回大会の構想を練りつつ、第50回新栄グリーン会のご報告を致します。



(営業部・清水)

総務部総務課

当社正面玄関横の花壇の花が満開になりました。この花壇は主要地方道富山・立山公園線に面しているので、車の量も多く、多くの皆様にマリーゴールドの鮮やかなオレンジ色に気付いていただければと思います。

また、少し前にはラベンダーが満開でした。今は刈り取って、ドライフラワーにしたラベンダーを花瓶に生けて、事務所の所々に置いて、ほのかな香りを楽しんでいます。



10月3日(土)に第17回資質向上研修会を新友会(協力会社)の皆様も交えて行いました。今回は、チームワークを再度取り上げ、「体験を通じて理解する! チームワークとコミュニケーション」というテーマで、外部講師をお招きして行いました。

このテーマの「体験」とは、5〜6名がチームとなり、架空の会社をどれだけ設立させられるかを競うカードゲームにより、チームワークとコミュニケーションの重要性を体験するというものです。カードゲームは決められた短時間の中で行わなくてはならず、様々なやり方を的確に判断しながら、同じチームの人と協力して行いました。しかし、勝負の結果を見て、自分たちのチームがなぜその結果になったのかを振り返ると、コミュニケーションが取れているチームと取れていないチームがあり、チームワークの力量の発揮が結果に表れていました。どれだけ個人が頑張っても、コミュニケーションが取れているチームには敵わないのです。

このカードゲームの体験から、チームワークを発揮すれば、「1+1=2」ではなく、「3」にも「4」にもなり、仕事でもチームワークとコミュニケーションが同じように重要だと再認識できました。

今回の資質向上研修会は、とても楽しく参加する事ができ、自分たちの業務に「チームワーク」と「コミュニケーション」を取り入れる事を考える良い機会になりました。

(総務部・酒井)

総務部経理課

季節の照明ということでジャック・オ・ランタンを作りました。

日本でも市民権を得始めたハロウィン。でも、あまり意味は知りませんでした。調べてみると、ハロウィンとは、毎年10月31日に行われる古代ケルト人が起源と考えられている祭りのことで、もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのある行事であったそうです。

ジャック・オ・ランタンは明かりを灯して、玄関先に魔除けとして飾ったそうです。現代では特にアメリカで民間行事として定着し、祝祭本来の宗教的な意味合いはほとんどなくなり、子どもたちが魔女やお化けに仮装して近くの家々を訪れてお菓子をもらったりする風習などが有名になったようです。

「明かり」はいつの時代も人を守り、安心を与えてくれるものだったのだと改めて感じました。ちなみに今回作ったジャック・オ・ランタンの中の光は、ろうそく型LEDライトなので、火の不始末の心配はありません。



(総務部・清水)

クレーム報告 (2015年8月〜11月)



- ・工事の是正を未報告 …………… 1件
- ・コンセント取付状況の未確認 …… 1件
- ・小口工事対応の遅れ …………… 1件
- ・クレーム報告の遅れ …………… 1件

ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。

一つの問題を全員のものとしてとらえ、このような事が起こらないように全社一丸で改善・対応して参ります。

(工事部・片山)

社長よりご挨拶

各位には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。昨今のニュースは企業の社会的責任や社員の資質を問われるものが多く、これからはお客様から企業の倫理が問われると同時に信頼が問われる大きな変革期に入ると思います。したがって、当社がお客様に信頼して頂くためには、常に流れを掴み、プラス思考で対応する事が重要だと思い、そのためには社員一人ひとりの資質を上げることが大前提だと考えます。社員の資質を上げるために、社員にとっては苦しい事や辛いことが多くあると思いますが、縦と横のコミュニケーションをしっかりと取り、お客様第一の精神で業務対応して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(代表取締役・清田)

発行元

株式会社新栄電設

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118

(編集・校正: 片山・小林・清水(営業)・上沢・酒井・清水(総務)・藤川・前田・加藤・大山・江口・佐伯) 2015年11月11日発行